

保護者の皆様

仙台市立作並小学校
校長 若狭友子

平成27年度 教育活動に関するアンケート集計結果について（お知らせ）

春寒の候 保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動に対し、ご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今年度、10月1日の「協働型学校評価に関するアンケート」及び1月8日の「教育活動に関するアンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。下記の通り集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

（教職員の合計数が合わないのは、担任以外の職員が含まれ、評価できない項目があるためです。）

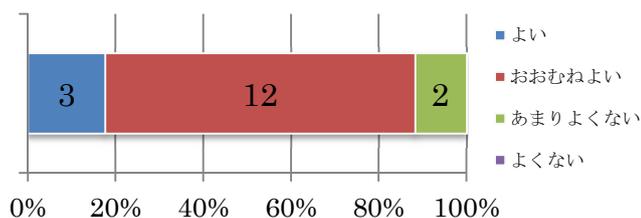
1 学校教育目標

※数字は該当人数

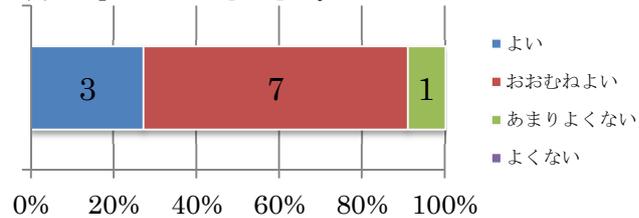
保護者

教職員

1 おさんは学校教育目標「かかわり合い、自分を高める」ことができている。



1 児童は、学校教育目標「かかわり合い、自分を高める」ことができている。



保護者、教職員ともに「よい」「おおむねよい」という評価が8割を超えています。今後も人、自然、文化などとかかわり合いながら、よりよい自分に高めようと努力する子どもを育てていきます。

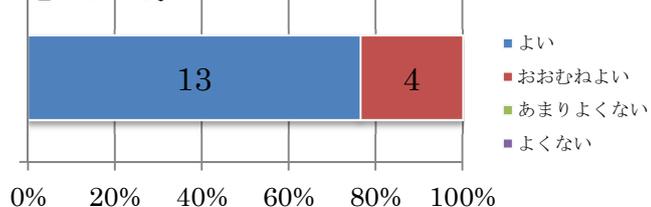
2 目指す児童像

やさしい子・かしこい子・たくましい子

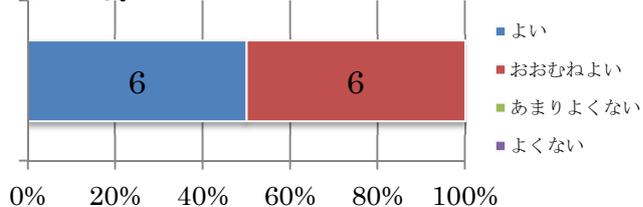
保護者

教職員

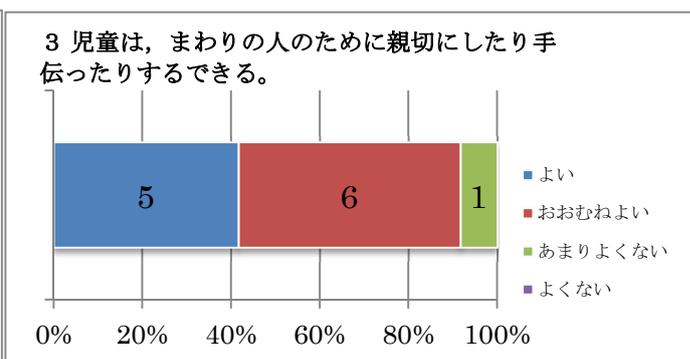
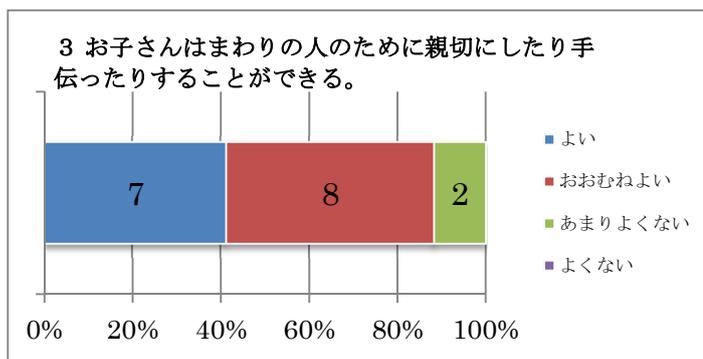
2 おさんは学年に関係なく、みんなと楽しく遊んでいる。



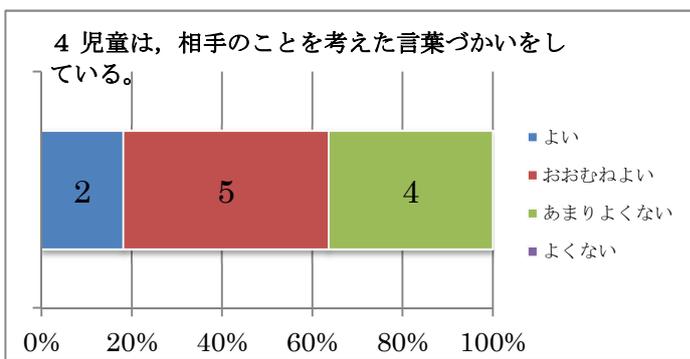
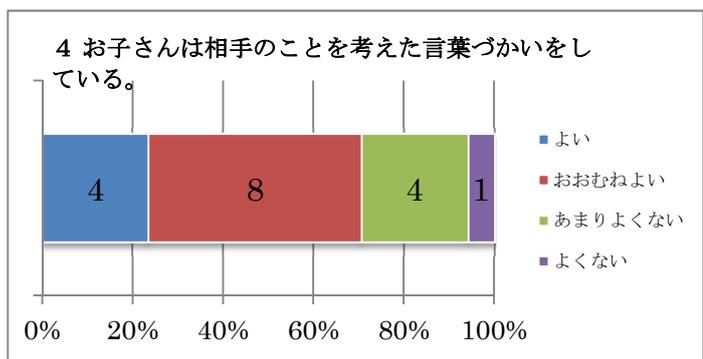
2 児童は、学年に関係なく、みんなと楽しく遊んでいる。



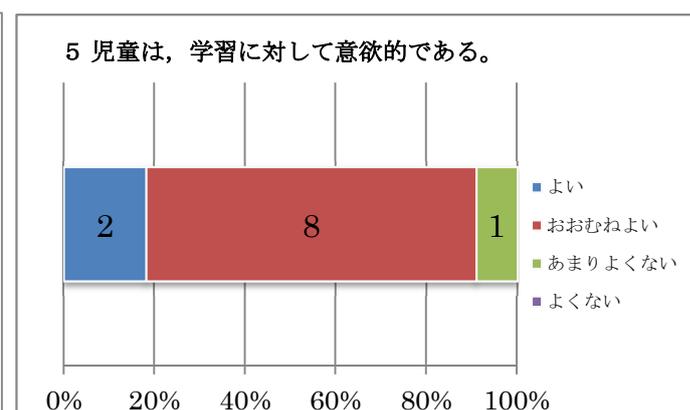
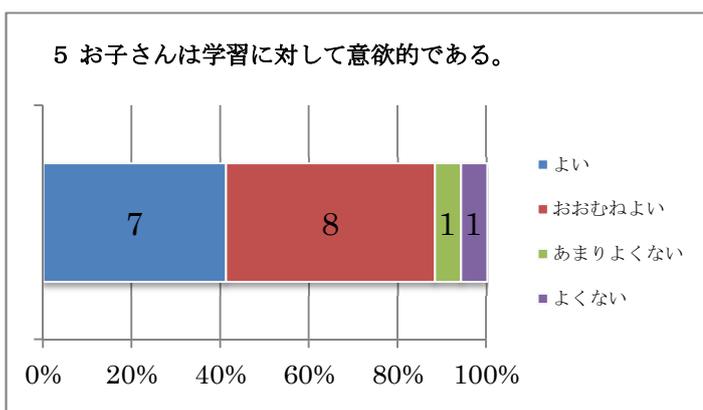
日常、複式で学習していることに加え、全校オリエンテーリング、たてわり清掃、グループ・全校給食など学年の枠を越えた活動を多く設定しているため、日頃のかかわりが仲の良さを支えています。放課後、下校のバスを待つ間には、異学年で遊んでいる姿がよく見られます。



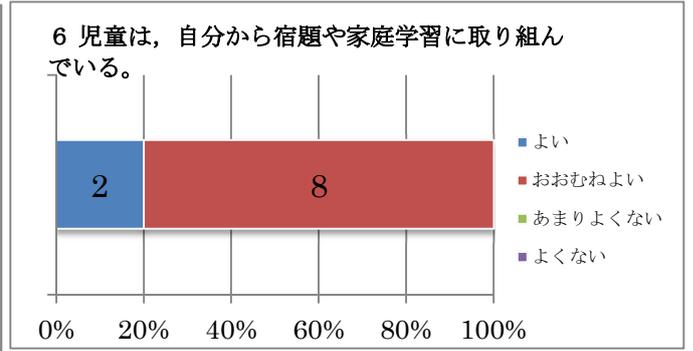
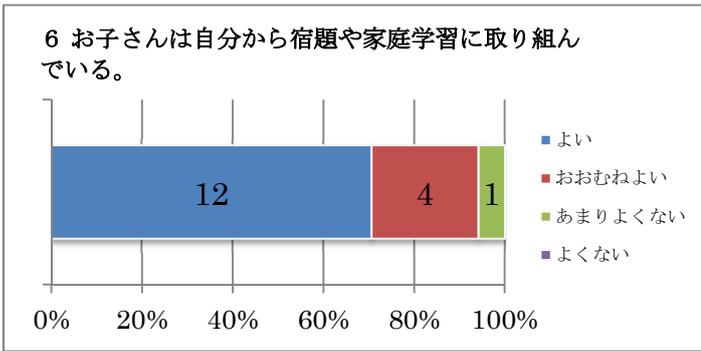
保護者、教職員ともに「よい」「おおむねよい」が8割を超えています。「あまりよくない」という評価がありましたので、道徳の授業を中心に指導を重ね、クラスの友達をはじめ、周りの人のことを考えて親切にしたり、手伝ったりできる子どもを育てていきます。



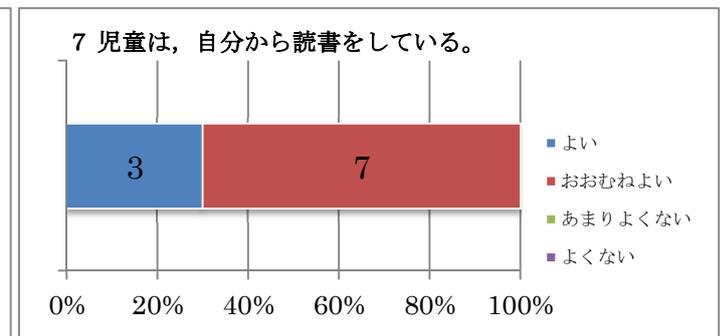
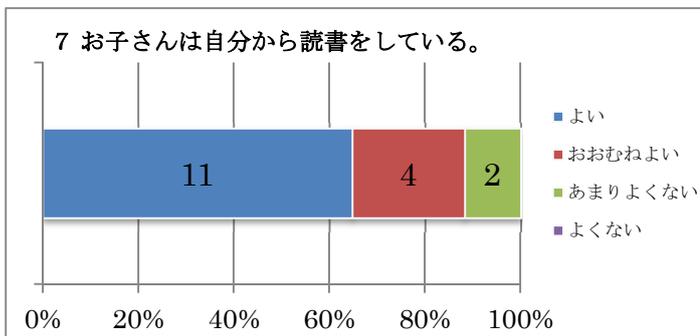
保護者アンケートでは「よい」「おおむねよい」が7割を超えましたが、教職員アンケートでは6割程度となりました。どちらもマイナス評価が他の項目に比べて多い結果となりました。これまで「ふわふわ言葉」「チクチク言葉」などを取り上げ、指導をしてきましたが、継続して指導を重ねていきたいと考えています。ご家庭での指導もよろしくお願ひします。



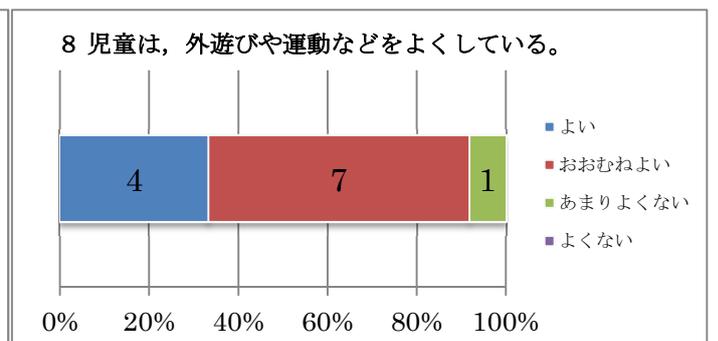
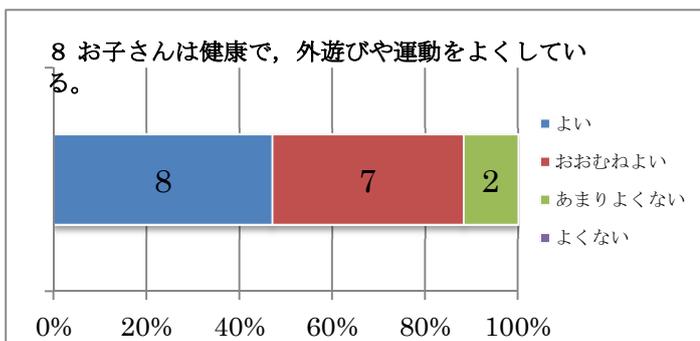
「よい」「おおむねよい」が8割を超え、良い評価でした。意欲不足の子どもに対して、意欲を持たせられるよう分かる授業を目指していきます。



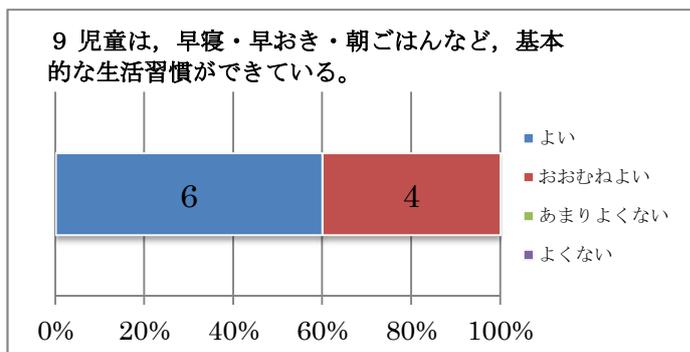
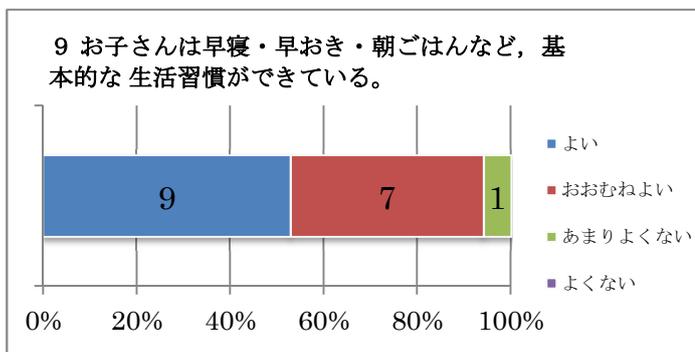
宿題や家庭学習への取組は、保護者の7割にあたる12名が「よい」と評価しています。「家庭学習カード」を活用し、子どもに家庭学習の意識化を図っていることの成果と見ます。また、学校と家庭との連携で家庭学習の習慣化が定着しつつあるようです。今後も主体的に家庭学習に取り組んでいくよう、ご家庭での協力をお願いします。



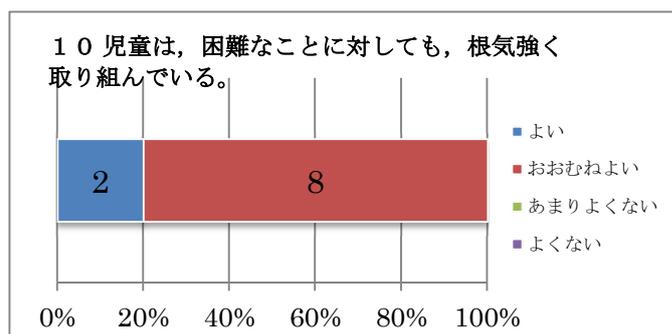
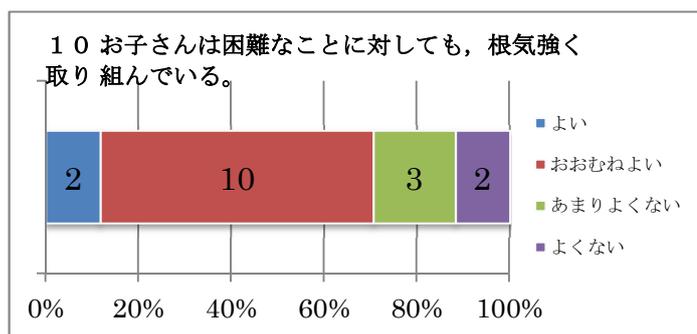
多くの子どもたちが進んで読書に取り組んでいる様子が見え、特に低・中学年は読書好きに育っています。「読書タイム」や地域ボランティアの皆さんによる「読み聞かせ」, 「本の紹介コーナー」など、本に親しむ環境づくりに取り組んできた成果が見られます。



保護者、教職員ともに「外遊びや運動をよくしている」との回答が80%を超えました。学校でもランタイムでめあてをもって走らせたり、朝や業間、昼休み、放課後に外遊びを奨励したりしています。



良好な評価となっています。基本的な生活習慣が定着していることがうかがえました。昨年度、生活習慣優良校として表彰され、継続されています。今後も、ご家庭の協力をお願いします。



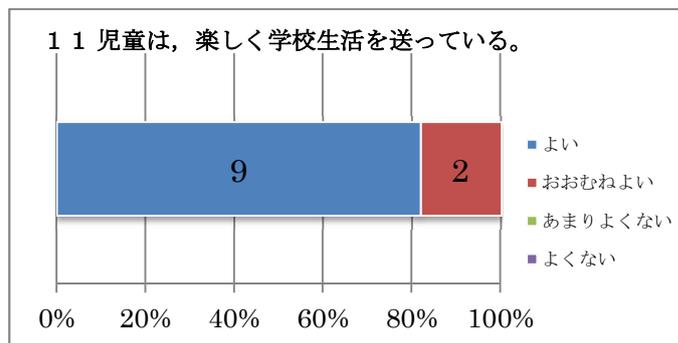
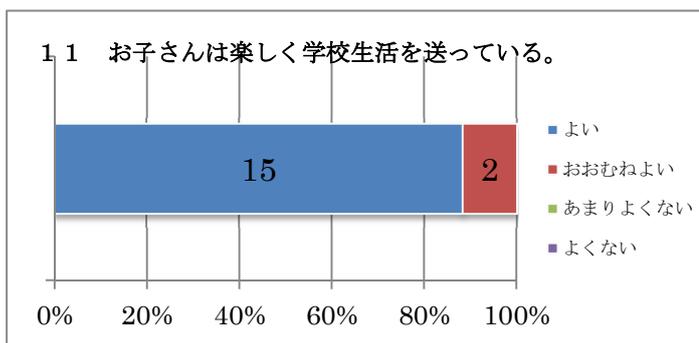
教職員のアンケートでは、「よい」「おおむねよい」を合わせた割合は100%になっていますが、保護者アンケートでは70%にとどまっています。「よくない」との回答は低学年を中心にありました。学校では子どもたちが苦しいことや困難なことに対してがんばれるよう、いろいろな手立てや励ましで支えています。今後とも、あきらめずにたくましく挑戦できるよう粘り強く指導していきます。

3 学校生活全般

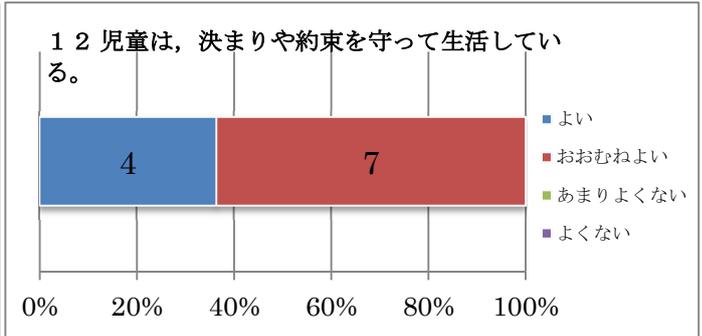
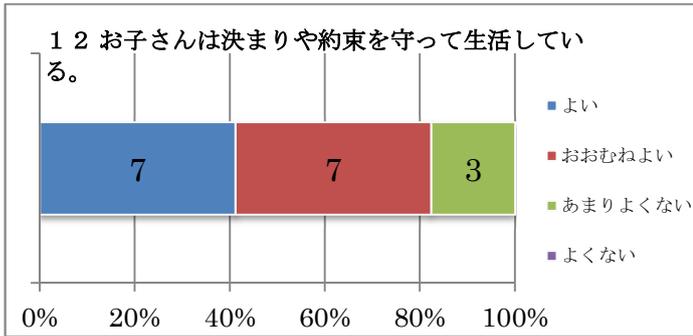
※数字は該当人数

保護者

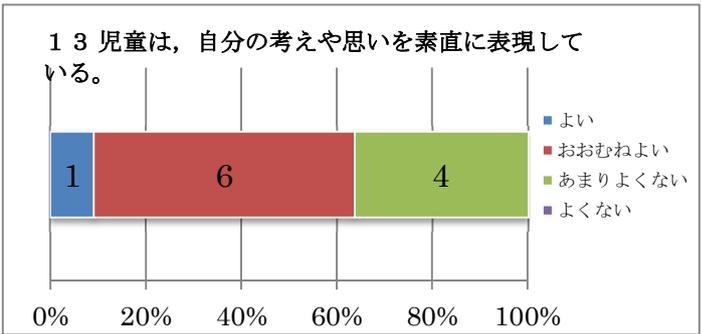
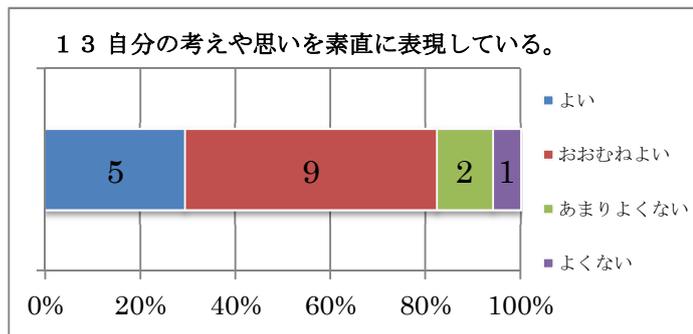
教職員



「よい」との回答が多数でした。大変素晴らしい結果です。子どもたちが毎日楽しく学校で過ごすことは基本です。これからもこのことを一番に、「よい」の100%を目指して取り組んでいます。



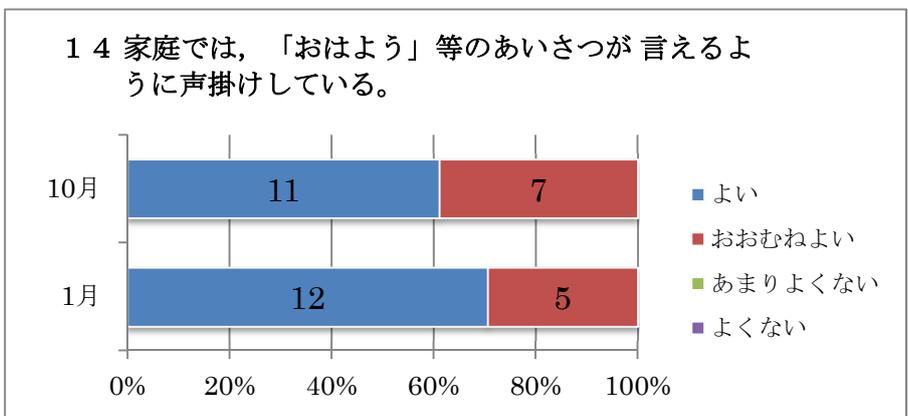
学校生活では、ほとんどの子どもたちが決まりや約束を守って生活しています。家庭でも決まりや約束を守れるよう話し合いをもちながらご指導をよろしくお願いします。



「よい」「おおむねよい」を合わせる保護者アンケートで8割、教職員アンケートで7割が自分の考えや思いを素直に表現していると評価していますが、「よい」の数が少ないことや「よくない」という評価があったことから、本校児童の大きな課題であると分析します。学校では、自分の思っていることを恥ずかしがらず堂々と話すことの大切さを訴えたり、パソコンや実物投影機などを活用したり、授業中に考えたことを発表する機会を多くもつようにしていきます。ご家庭でのご指導もよろしくお願いします。

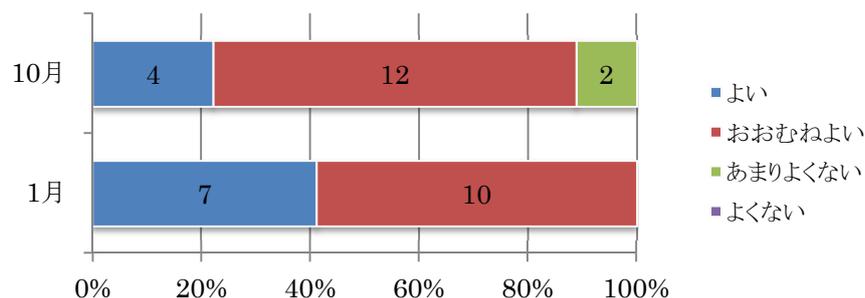
4 協働型学校評価重点目標 ※数字は該当人数

保護者による改善活動



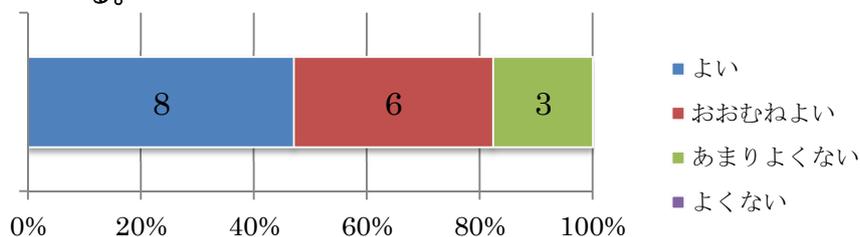
今後も共にあいさつができる子どもに育つよう、あいさつの声掛けをしていきましょう。

15 家庭では親が手本になるあいさつをしている。



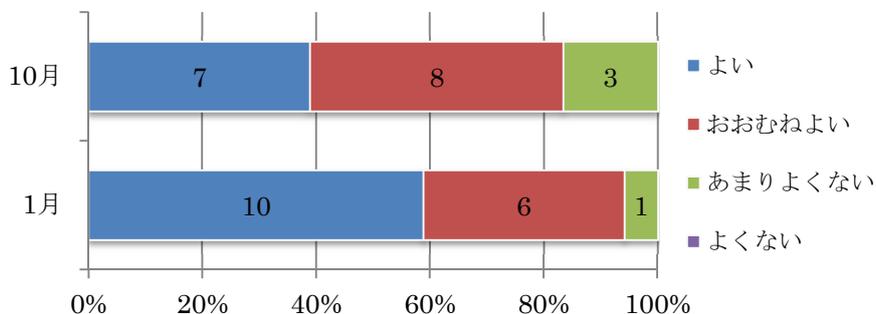
10月の回答より保護者の皆さんが一層意識して手本になるあいさつをしてくださっていることに、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いします。

16 家庭では音読を聞き、励ましの言葉を掛けている。



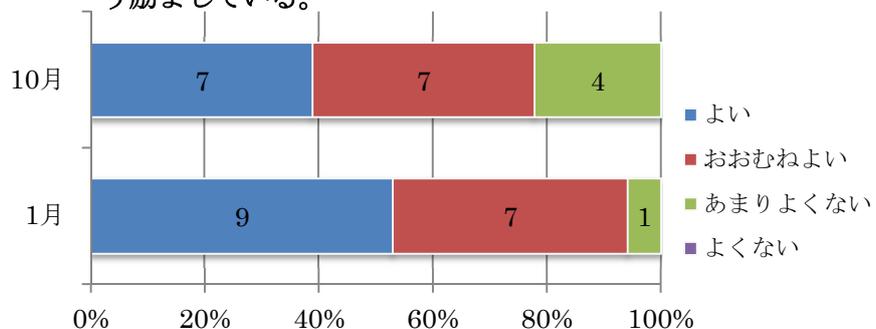
音読に対する励ましの言葉は、子どもたちの意欲につながります。音読を聞く時間を作って励ましの言葉掛けをお願いします。(10月との比較はありません。)

17 家庭では毎日家庭学習に取り組ませている。



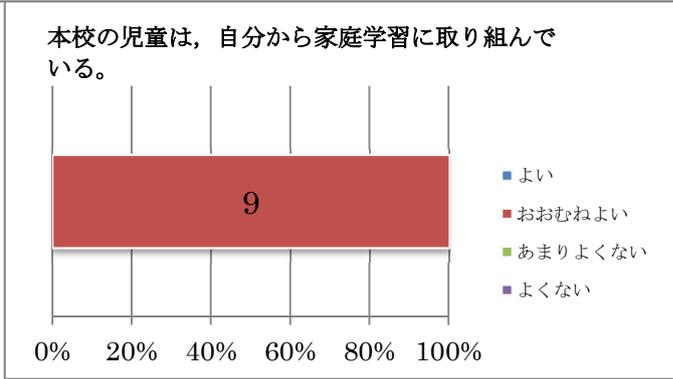
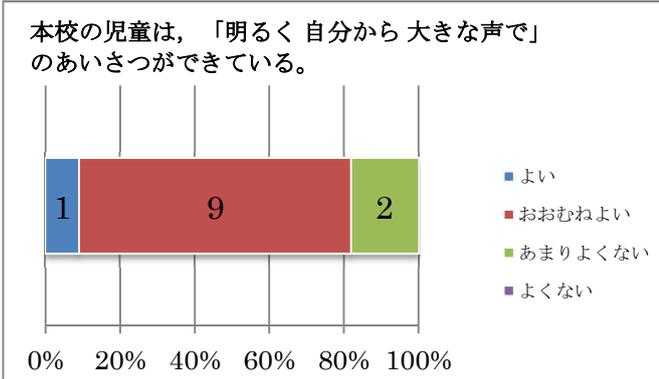
10月と比べて家庭学習にしっかり取り組ませようとする家庭の意識が一層高まっていることがうかがえます。毎日家庭学習をする習慣は学力向上につながります。よろしくお願いします。

18 家庭では目標とする家庭学習時間を達成できるよう励ましている。

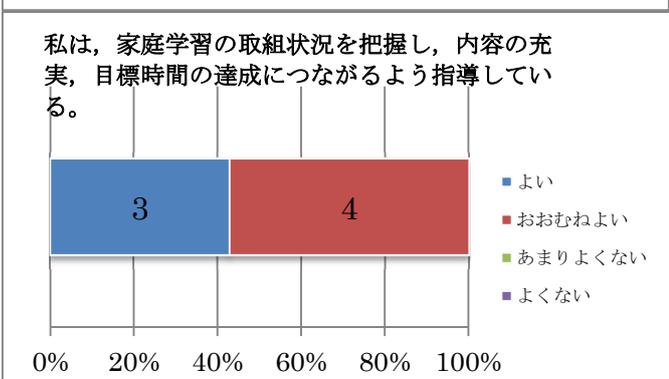
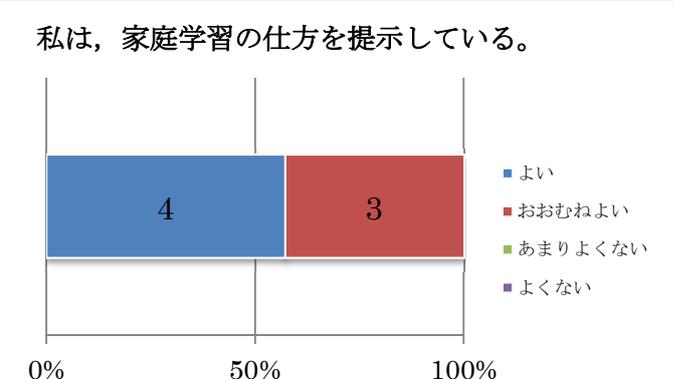
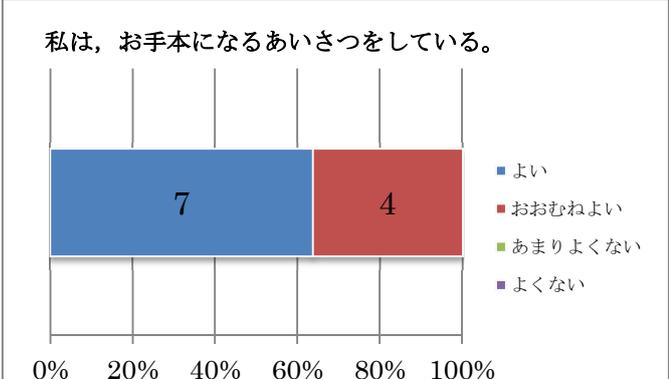
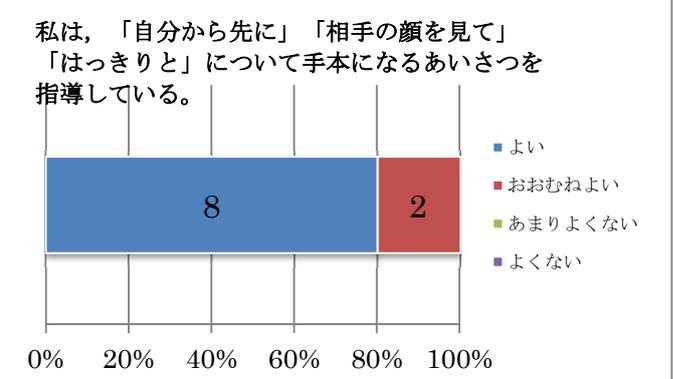
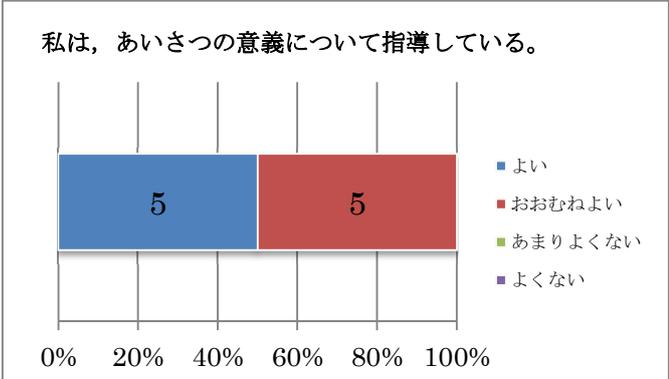


この項目も10月と比べて家庭学習への声掛けが多くなっています。本校では「10分×学年以上」を目標の家庭学習時間と設定しています。じっくりやるべき課題に取り組ませるようお願いします。

子どもの姿について・教職員



教職員による改善活動

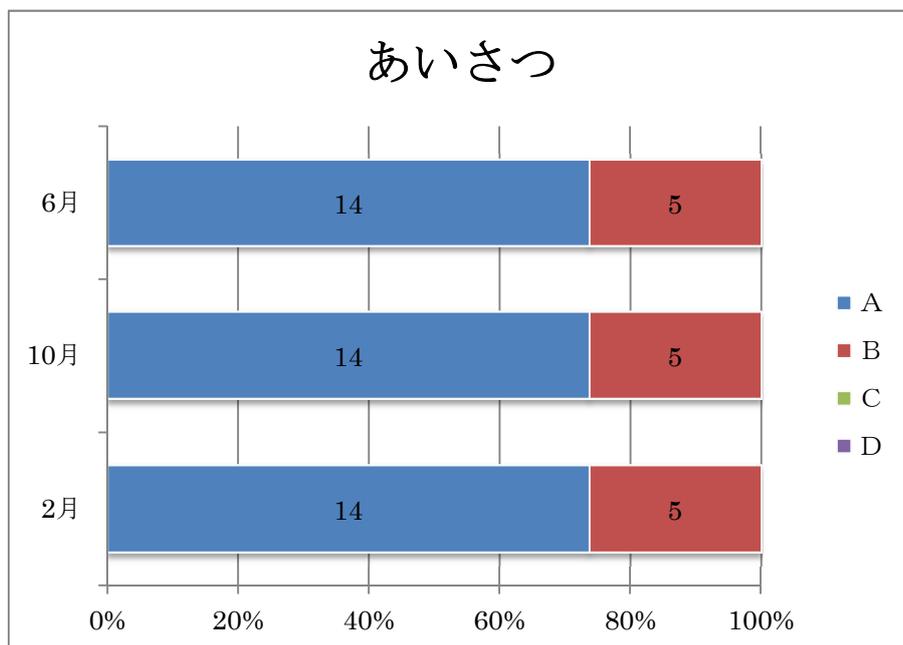


あいさつは教職員が率先してよいモデルとなり、子どもたちに「明るく・自分から・大きな声で」あいさつできるよう、日々、積極的に働きかけています。

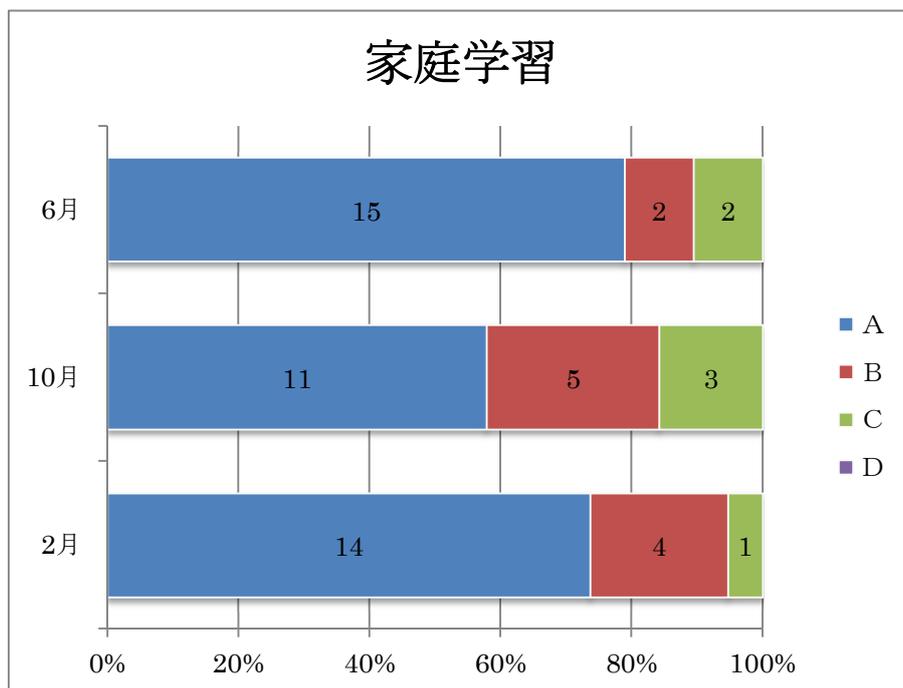
家庭学習は、「家庭学習カード」等で把握した学習状況を生かして、下学年は学習習慣の定着を、上学年は内容の充実等を目指して今後とも指導に当たりたいと思います。

5 児童による協働型学校評価重点目標

【 A…よくできた B…だいたいできた C…あまりできなかった D…できなかった 】



あいさつについては、6月の1回目の評価から12月の3回の評価まで「できた」「だいたいできた」と回答した児童数に変化が見られませんでした。「よくできた」が100%になることを目指していますので、さらに具体的な指導をしていきます。ご家庭でもよろしくお願ひします。

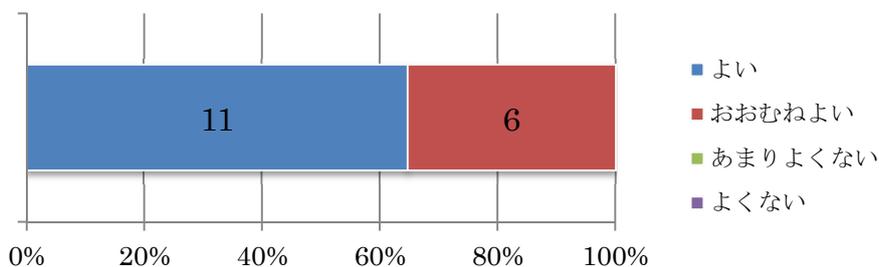


家庭学習については、10月の2回目の評価で、やや“中だるみ状態”が見られましたが、3回目の評価では盛り返しつつあるようです。「あまりできなかった」と評価した児童が少なくなったのは、うれしい限りです。今後とも家庭学習カードを活用し、学校と家庭が連携しながら、家庭学習習慣の定着を図っていきたいと考えていますので、ご協力お願いします。

6 確かな学力の育成

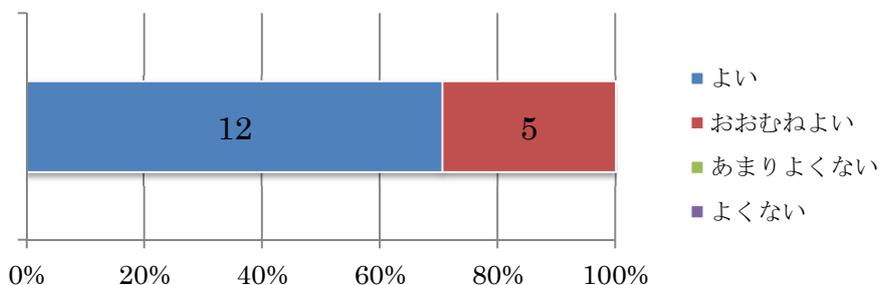
※数字は該当人数

1 9 学校は、お子さんが楽しく、分かりやすく学べるような授業づくり（指導方法の工夫）を行っている。



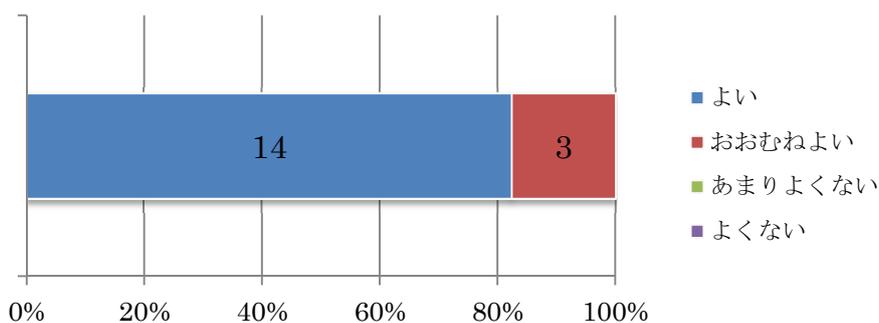
今後も職員研修(授業研究, 実技研修等)を重ね, 学習に対して意欲・関心をもたせ, 分かる・できる授業を展開できるようにしていきます。

2 0 学校は、伝統文化教育を通して、郷土への愛着や我が国を誇りに思う気持ちを育てている。



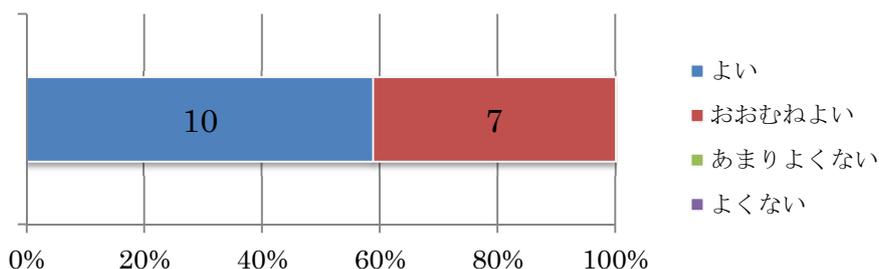
伝統文化教育を重点目標とし, よもぎ餅作り, 箏, 作並小唄, こけしの絵付け等の学習を通して, 地域への愛着や日本を愛する心を育ててきました。

2 1 「作並小漢字検定」は、児童の学習意欲を高めるとともに、漢字力を高めることに役立っている。



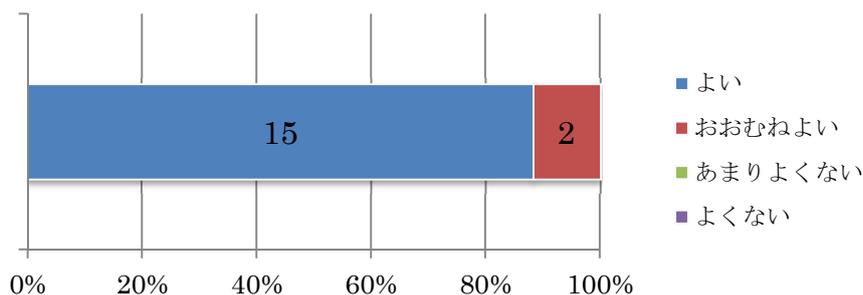
今年度漢字検定は20回実施し, 子どもたちの漢字練習の定着を図ることのみならず, 自主的に学習に取り組もうとする気持ちを育ててきました。昨年からの実施により, 今年度の標準学力検査の結果に反映されました。

2 2 学校は、望ましい学習習慣の形成のために、適切に学習訓練や家庭学習の指導を行っている。



今後も, 授業中の約束を徹底したり, 「家庭学習の手引き」を活用したりして規律ある学習習慣や積極的に学ぼうとする意欲を育てていきます。

2 3 学校は、地域の人材や外部講師を活用して豊かな学びにつながる指導をしている。

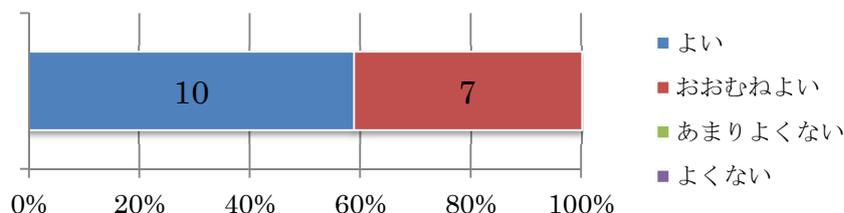


総合的な学習の時間（生活科）を中心に、地域の人材や外部講師を活用して学習を進めました。教科書の枠を越えた学習は、子どもたちに多様な見方、価値観、新しい世界などに触れる良い機会になったようです。

7 防災教育

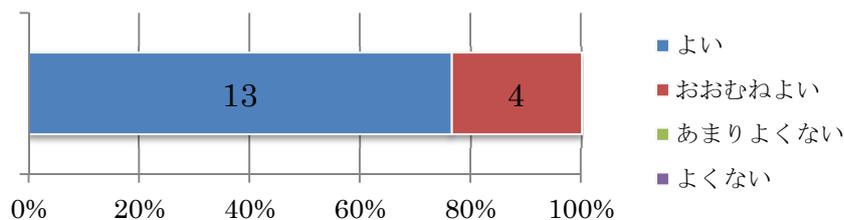
※数字は該当人数

2 4 学校は、防災教育や道徳教育を通して、お子さんに命の大切さや思いやり、社会のルールを尊重する意識を育てている。



防災教育、道徳教育の年間指導計画をしっかりと整え、実践することを通して命の大切さや思いやりの心を育てていきます。

2 5 学校は、地震や火災想定避難訓練や地域合同防災訓練を通して、安全・防災教育の充実を図っている。

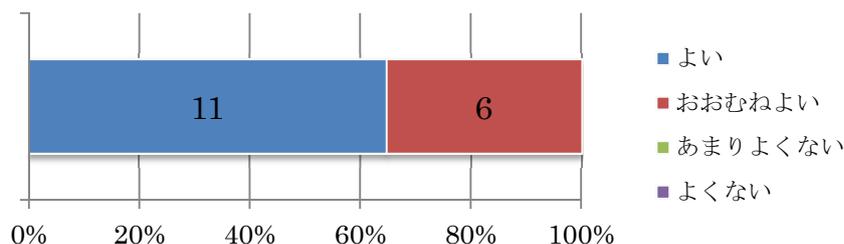


今年度は、地域と一緒に防災訓練に参加するなど、より実践的な防災教育に取り組みました。小学生でも地域の一員として貢献しようとする心を育てていきます。

8 積極的生徒指導

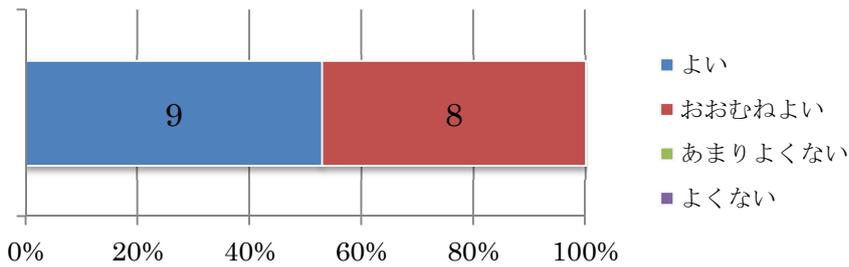
※数字は該当人数

2 6 学校は、いじめなどのない明るく楽しい学校づくりに取り組んでいる。



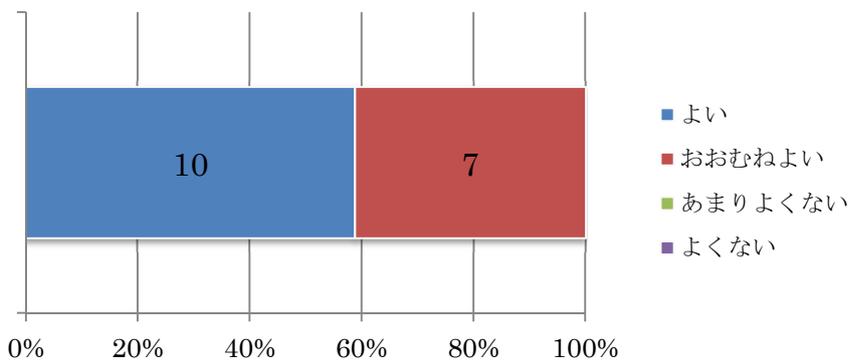
毎月の「いじめチェック」や2か月に1度の「いじめについての意識調査」を行うとともに、教職員で連携しながら、子どもたちの小さな変化についても見逃さず対応しています。

27 学校は、お子さんの学習や生活、交友関係等について真摯に相談に応じてくれる。



学校は、子どもたちの悩みや課題等を把握し、相談体制をつくっています。今後もしっかり子どもたちと向き合っていきます。心配なことは躊躇せずご相談ください。

28 学校は、チェックシートを活用して、よりよい生活習慣を身に付けるよう指導している。

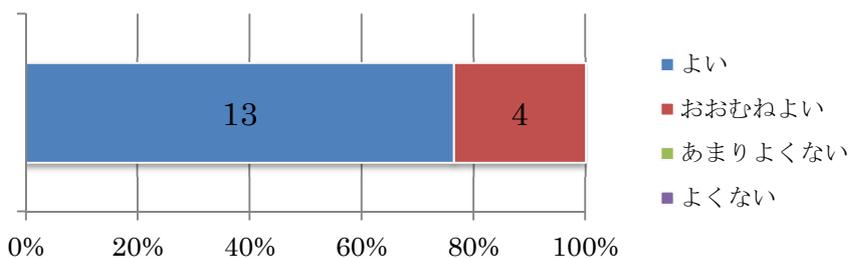


学校と家庭の連携で行っている「生活習慣チェックシート」は生活習慣を身に付けるとともに、自分の生活を振り返ることに役立っています。今後とも活用しながらよりよい生活習慣を確立していきます。

9 保護者や地域との連携

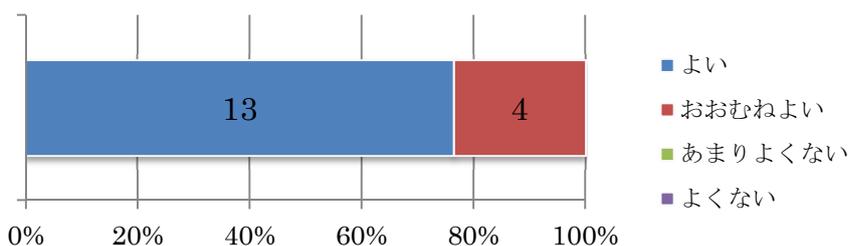
※数字は該当人数

29 学校は、PTAや地域の協力を得ながら、よりよい教育活動を計画・推進している。



学校と保護者・地域が一体となって教育を行っているという思いが共通理解できていることに感謝いたします。今後も子どもたちの豊かな学びや健やかな成長のためにご協力をお願いいたします。

30 学校は、教育活動について積極的に保護者や地域に発信している。（校長室だより、学校だより、学級だより、ブログ、ホームページ等）



今後も作並小の取組や子どもたちのよりよい姿を随時発信していきます。皆様からの情報提供もよろしく願います。

10 まとめ

全体的な傾向として評価の高い項目は、「学年に関係なく遊ぶ」「楽しい学校生活」「あいさつ」「漢字検定」「地域の人材・外部講師の活用」「防災訓練」「PTA・地域の協力」「情報の発信」となりました。

今後の課題としては、子どもたちの「言葉づかい」「根気強さ」「自分の考えや思いを表現する」が挙げられます。今後も「言葉づかい」については、道徳の時間や学級活動等で指導を重ねていきます。また「根気強さ」については自然体験、社会体験等の体験活動や学校行事を通じて育てていきます。「自分の考えや思いを表現する」については、授業中に考えたことを発表する機会を多くもつようにするとともに、その土台となる“自信”を育てていきたいと思えます。

協働型学校評価の重点目標については、10月と1月に評価していただいたところ、「あいさつ」「家庭学習」ともにより評価が増え、子どもたちの意識の高まりが感じられます。今年度の協働型学校評価の重点目標「自分から元気なあいさつができる子どもの育成」については、保護者の皆さんが意識して手本になるあいさつをしてくださっていることなど、学校、家庭、地域の積極的な働きかけがよりよい子どもの姿につながることを確認できました。

「自分から家庭学習をする子どもの育成」については、家庭学習カードを活用し、家庭で行った学習の内容、時間を記録し、学校と家庭が連携して学習習慣づくりに取り組んできた成果が見られるようになりました。

今後も保護者や地域の皆様と連携・協力を図り、本校教育目標「かかわり合い、自分を高める児童の育成」に教職員一同取り組んでいきたいと思えます。ご協力・ご支援の程よろしく願いいたします。